

1-5 コムーネのテリトリー

イタリアの典型的な歴史あるコムーネは、中心となる居住地である都市「チッタ *citta*」とその周辺領域「テリトリーオ *territorio*」から成る。前節でみてきたように、都市と田園の構図が歴史的に形成されてきたからだ。本節ではこれを、マッサ・マリッティマを具体例として主に図解と写真で示す。

■マッサ・マリッティマのテリトリー

マッサ・マリッティマについて語るとき、華やかな「チッタ *citta*」的性質、つまり都市空間についての話が增多するのであるが、実際には周辺地域がその地理的大部分を占めている。その構造をわかりやすく図解したものを作成したので、ご覧いただきたい。

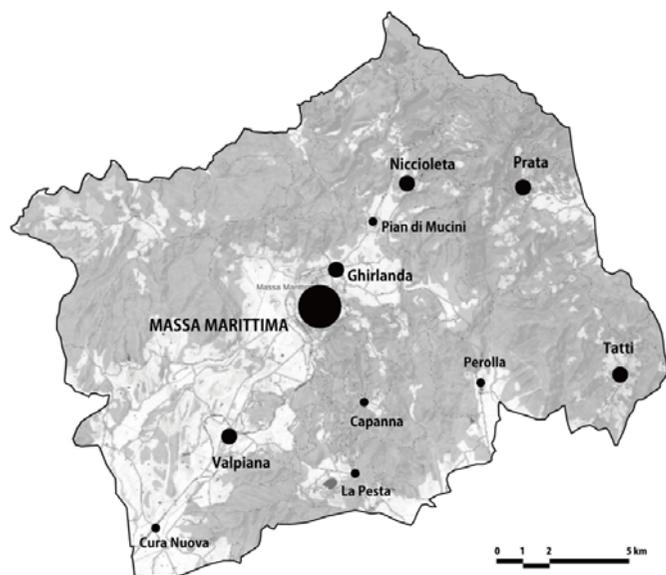


図 1-25 マッサ・マリッティマのコムーネのテリトリー

※トスカーナ州 Regione Toscana の地図をもとに筆者が作成。主な frazione (分離集落) と località (田園部の地名) を示してある。

マッサ・マリッティマのコムーネの総面積は 283.45 km²である。地図上に「MASSA MARITTIMA」と示してあるのが、コムーネの中心地 *capoluogo comunale*、人が集住している「チッタ *citta*」の部分である。さまざまなコムーネを見ていくと、この「チッタ *citta*」は必ずしもテリトリーの中央にあるわけではないのだが、マッサ・マリッティマの場合には、非常にきれいなカタチで、中央に置かれている。

周辺には、田園地帯や丘陵地帯が広がっているが、やはり古くから住んでいる人がいて、歴史ある小さな集落や意味ある地名というものも存在している。小さな集落は、現在の行政的には「フラツィオーネ *frazione*」と称される。イタリアの言語的な意味は、分数・別れたもの、ということになるのだが、マッサ・マリッティマのテリトリーに属する集落ならば、「マッサ・マリッティマの分離集落 *frazione di Massa Marittima*」という表現がされる。また、人がそれほど集住しているわけではないが、古くからの重要な地名というものがあり、それらは「ロカリタ *località*」という。

■丘の上にあるまち

マッサ・マリッティマは、標高は 380m の丘の上にあり、丘の斜面にはオリーブ畑が広がっている。分離集落の中には、同様に、丘の上や斜面にあるものも多い。もっとも高地にあるのが北東に 12km ほど行ったところにあるプラータ Prata で、標高が 620m にもなる。マッサ・マリッティマではあまり雪が降りつもることはないが、冬の寒い日、プラータが白く染まって丘陵地の遠くに見えることは多い。プラータの手前にあるニッチョレータ Niccioleta では標高が 460m、テリトリーの東端にあるタッティ Tatti は、標高 412m にある。一方、ギルランダ Ghirlanda は、マッサ・マリッティマの中心部から北東の方角へ丘を 1km ほど下ったすぐ近くにあり、標高は 274m である。



図 1-26 丘の上にあるマッサ・マリッティマの旧市街中心部 ※筆者撮影